

2014 年度後期授業評価アンケート集計結果に対するコメント

—文学研究科—

文学研究科長 石 鍋 真 澄

基本的には昨年と同じ傾向だといえる。「総合的にこの授業を評価できる」の設問の平均値が 4.86 と昨年とほぼ同じで、非常に高い評価を受けているのは喜ばしい。「この授業によく出席した」あるいは「教員の話し方は明瞭であった」、「授業への教員の熱意を感じた」、「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心掛けた」「教員は発言・議論等授業参加を積極的に促した」といった設問が、4.8 以上の評価を受け、授業が円滑にかつ活発に行われている様子がうかがえる。「この授業のレベルはあなたにとって適切であった」という設問のみ、4.56 と若干低いポイントだが、心配するレベルではないと思われる。総じて、高い評価を受け、少なくとも出席して授業評価アンケートに協力してくれた学生の皆さんには、十分満足していただけていると受け止められる。